



映画評論家 清水節さん「ブラック・スキャンダル」

舞台は1970年代のサウス・ボストン。FBI捜査官のコノリーは、ギャングのボス、バルジャーに敵対組織の情報提供を持ちかける。さらに、名声を望む政治家のビリーも彼らと手を組んで、権力の座を駆け上がっていく。実は、この3人は同じ街で育った幼馴染。そしてその絆がやがて、アメリカの正義を揺るがす大事件へと変貌する…。

全米を震撼させた禁断の"密約"を描いたクライム・サスペンス。ぜひご覧ください。

アメリカの正義を揺るがした実在の事件

この映画は実在したギャングの物語。

ピューリッツァー賞ジャーナリストによるノンフィクションを原作に、「アメリカFBI史上、最悪のスキャンダル」と言われる事件を描いています。

1970年代、ボストンにFBIと癒着した伝説のギャングがいました。彼の弟は上院議員になり、友人はFBIの捜査官になります。そしてこの3人が結託して、癒着して、裏社会で様々な悪事を繰り広げます。

その伝説のギャング、ジェームズ・“ホワイティ”・バルジャーをジョニー・デップが演じます。

バルジャーに扮するジョニー・デップは、特殊メイクに2時間もかけ、凄い変貌ぶりです。こんなジョニー・デップは見たことがありません。その極悪非道ぶりにご期待ください。

「ブラック・スキャンダル」は、TOHOシネマズ 六本木ヒルズにて絶賛上映中です。

▶ TOHOシネマズ 六本木ヒルズ



TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

(2016.02.15)

完璧なまでに極悪非道を演じるジョニー・デップをお見逃しなく

悪名高き実在のギャング、ジェームズ・“ホワイティ”・バルジャーを、「パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち」「ネバーランド」「スウィーニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師」で3度のオスカーにノミネートされたジョニー・デップが熱演。ジョニー・デップは、「パイレーツ・オブ・カリビアン」シリーズでも特殊メイクを担当したジョエル・ハーロウと組み、実際にバルジャーを知る原作者が「まさに生き写し」と舌を巻くほど完璧なバルジャーを作り上げた。

監督は「クレイジー・ハート」でアカデミー賞2部門を受賞したスコット・クーパー。撮影は「世界にひとつのプレイブック」等を手掛けた日本人のマサノブ・タカヤナギが担当。

プロフィール



映画評論家・クリエイティブディレクター。1962年東京生まれ。共著書に新潮新書「スター・ウォーズ学」。企画・構成原案・取材を担当したWOWOW「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ」でギャラクシー賞受賞。